

【注意喚起】銀行を装った詐欺

令和5年11月21日（総23第32号）

在デンパサール日本国総領事館

- 当地において、銀行を装い、デビットカード番号、セキュリティコード、口座番号、携帯電話番号等情報を窃取する詐欺が発生しています。ご注意ください。
- 1 当地において、銀行を装い、デビットカード番号、セキュリティコード、口座番号、携帯電話番号等情報を窃取する詐欺が発生していますので、ご注意ください。
- 2 被害者によれば、手口の一例は、以下のとおりです。
 - （1）WhatsApp に BNI 銀行を名乗る者から「振込手数料」に関するメッセージが届き、やりとりを続けると、WhatsApp に着信がある。
 - （2）デビットカード番号やセキュリティコードを聞いてくる。
 - （3）リンクが送られてきて、クリックすると口座番号や携帯電話番号の入力を求められる。
- 3 インドネシアでは、WhatsApp によるメッセージのやり取りが日常的に行われていますが、上記のような詐欺もありますので、銀行を騙った WhatsApp や電話で、カード番号、口座番号、暗証番号等の個人情報を入力するよう又は教えるよう誘導されても、鵜呑みせず、まずは、一旦立ち止まって、別途真偽を取引先銀行支店に確認することが重要です。「重要」、「緊急」、「不安」、「焦り」、「お得」を感じさせる内容は、フィッシング詐欺の特徴となります。
- 4 万一、個人情報を教えた後に詐欺と判明した場合には、銀行に大至急連絡の上、該当の口座を一時凍結できないか相談するとともに、警察に被害届を提出してください。